

平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年1月31日

上場会社名 株式会社KSK 上場取引所 東
 コード番号 9687 URL http://www.ksk.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河村 具美
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 牧野 信之 TEL 042-378-1100
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	10,459	4.9	748	5.9	780	6.0	560	20.8
28年3月期第3四半期	9,967	3.7	706	48.3	736	45.9	464	51.9

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 611百万円 (31.8%) 28年3月期第3四半期 464百万円 (33.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	91.00	89.88
28年3月期第3四半期	74.56	73.92

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	12,462	9,152	72.8	1,503.31
28年3月期	12,500	8,909	70.9	1,426.08

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 9,074百万円 28年3月期 8,856百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
29年3月期	—	0.00	—		
29年3月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,560	5.1	1,160	3.1	1,195	2.4	815	15.5	132.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	7,636,368株	28年3月期	7,636,368株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	1,599,742株	28年3月期	1,425,663株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	6,163,562株	28年3月期3Q	6,226,705株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益の改善や人手不足の影響等により、雇用・所得環境の改善が続いておりますが、個人消費は依然弱含みで推移しております。英国EU離脱問題や米国大統領選挙後の政策の不確実性がもたらす為替や金融市場の急激な変動などにより、景気の先行きは不透明な状況が続きました。

当社グループが属する情報サービス産業界においては、新規のシステム開発や更新・改良などの需要が拡大しております。その一方で、慢性的な技術者不足が発生しており、採用コストや外部委託コストを上昇させる要因となっております。

このような環境の中で、当社グループでは、市場の需要への対応と将来の持続的な発展を見据えて、新卒および中途の採用活動や人材育成に注力するほか、パッケージソフトウェアの全面改良に取り組んでおり、引き続き積極的な投資を継続してまいりました。そのため、募集費、教育費、研究開発費等の経費が増加しておりますが、大口開発案件の進捗や投資有価証券の一部売却などを行ったことで、前年同期対比では増収増益となっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,459百万円（前年同期比4.9%増）、営業利益につきましては748百万円（前年同期比5.9%増）、経常利益につきましては780百万円（前年同期比6.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては560百万円（前年同期比20.8%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(イ) システムコア事業

半導体設計業務を中心に車載機器関連業務の受注等が増加していることで、収益性の改善が進んだことなどから、売上高は2,065百万円（前年同期比3.2%増）、セグメント利益は499百万円（前年同期比8.2%増）となりました。

(ロ) ITソリューション事業

大口の開発案件が貢献し業績は拡大しましたが、一部の案件で開発コストが増加し採算性が悪化したことなどから、売上高は2,951百万円（前年同期比5.6%増）、セグメント利益は379百万円（前年同期比0.2%減）となりました。

(ハ) ネットワークサービス事業

需要が好調に推移する中、引き続き中途採用の強化や採算性の改善に注力したことなどから、売上高は5,442百万円（前年同期比5.2%増）、セグメント利益は970百万円（前年同期比9.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債および純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、12,462百万円と前連結会計年度末に比べ37百万円の減少となりました。これは主に、流動資産の仕掛品が181百万円、固定資産の投資有価証券が596百万円、それぞれ増加した一方で、流動資産の受取手形及び売掛金が215百万円、有価証券が299百万円、投資その他の資産その他に含まれる長期性預金が300百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。

(負債)

負債は、3,310百万円と前連結会計年度末に比べ280百万円の減少となりました。これは主に流動負債において、短期借入金が60百万円、流動負債その他に含まれる未払費用が98百万円、同預り金が185百万円それぞれ増加した一方で、流動負債の未払法人税等が214百万円、賞与引当金が412百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

(純資産)

純資産は、9,152百万円と前連結会計年度末に比べ242百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により560百万円、その他有価証券評価差額金が31百万円、新株予約権が23百万円それぞれ増加した一方で、配当金の支払いにより利益剰余金が217百万円、自己株式の取得により175百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、投資有価証券売却益等の影響を受け、親会社株主に帰属する当期純利益が増加する見通しであることから通期業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成29年1月31日）公表いたしました「通期業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更
(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)
法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。
この変更に伴う影響額は軽微であります。
- (4) 追加情報
(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)
「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,076	4,120
受取手形及び売掛金	2,963	2,748
有価証券	800	500
商品	—	0
仕掛品	102	284
原材料及び貯蔵品	0	0
その他	572	539
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	8,510	8,189
固定資産		
有形固定資産	632	602
無形固定資産	137	163
投資その他の資産		
投資有価証券	2,365	2,961
その他	881	570
貸倒引当金	△27	△24
投資その他の資産合計	3,219	3,507
固定資産合計	3,989	4,273
資産合計	12,500	12,462
負債の部		
流動負債		
買掛金	163	179
短期借入金	40	100
未払法人税等	298	84
賞与引当金	896	483
工事損失引当金	1	0
その他	839	1,075
流動負債合計	2,239	1,922
固定負債		
退職給付に係る負債	1,083	1,118
資産除去債務	43	44
その他	224	224
固定負債合計	1,352	1,387
負債合計	3,591	3,310
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,448	1,448
資本剰余金	1,636	1,636
利益剰余金	6,552	6,896
自己株式	△771	△946
株主資本合計	8,867	9,035
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	176	207
退職給付に係る調整累計額	△186	△168
その他の包括利益累計額合計	△10	39
新株予約権	48	72
非支配株主持分	3	4
純資産合計	8,909	9,152
負債純資産合計	12,500	12,462

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	9,967	10,459
売上原価	7,968	8,318
売上総利益	1,999	2,140
販売費及び一般管理費	1,292	1,392
営業利益	706	748
営業外収益		
受取利息	13	14
受取配当金	12	14
その他	4	5
営業外収益合計	30	34
営業外費用		
支払利息	0	0
保険解約損	—	0
その他	0	0
営業外費用合計	0	1
経常利益	736	780
特別利益		
投資有価証券売却益	—	61
特別利益合計	—	61
特別損失		
固定資産除却損	8	0
投資有価証券評価損	—	3
特別損失合計	8	4
税金等調整前四半期純利益	727	837
法人税等	263	276
四半期純利益	464	561
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	464	560

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	464	561
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12	31
退職給付に係る調整額	11	18
その他の包括利益合計	△0	49
四半期包括利益	464	611
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	463	610
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年12月31日まで)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	システムコア事業	ITソリューション事業	ネットワークサービス事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	2,001	2,794	5,171	9,967
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	8	3	11
計	2,001	2,803	5,175	9,979
セグメント利益	461	379	882	1,724

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,724
セグメント間取引消去	73
全社費用(注)	△1,091
四半期連結損益計算書の営業利益	706

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年12月31日まで）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	システムコア事業	ITソリューション事業	ネットワークサービス事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	2,065	2,951	5,442	10,459
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	8	2	10
計	2,065	2,960	5,444	10,470
セグメント利益	499	379	970	1,848

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,848
セグメント間取引消去	79
全社費用（注）	△1,179
四半期連結損益計算書の営業利益	748

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。